

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ソリトンシステムズ

 コード番号 3040 URL <http://www.soliton.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鎌田 信夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長

(氏名) 福原 茂喜

TEL 03-5360-3801

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,377	△8.6	△232	—	△358	—	△247	—
23年3月期第2四半期	4,791	△17.6	△85	—	△312	—	△195	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △232百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △195百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△50.25	—
23年3月期第2四半期	△39.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年3月期第2四半期	7,796	—	3,336	—	42.6	—
23年3月期	7,553	—	3,696	—	48.6	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,317百万円 23年3月期 3,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	8.8	400	50.5	350	—	200	291.6	40.53

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	4,934,722 株	23年3月期	4,934,722 株
24年3月期2Q	71 株	23年3月期	71 株
24年3月期2Q	4,934,651 株	23年3月期2Q	4,934,722 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、東日本大震災後の一時的な深刻な状況からは脱したものの、一方では欧州の債務問題や円高の長期化が、国内経済の景気回復の足かせとなっている状況です。

当社の連結業績も、東日本大震災直後にける顧客企業の停滞ムードにより、依然として厳しい事業環境が続いた中、今後需要が旺盛になるスマートフォン関連セキュリティ新製品を市場投入するなど努めましたが、すぐに売上へ寄与せず、結果として売上高が4,377百万円（前年同四半期比8.6%減）、営業損失は232百万円（前年同期は営業損失85百万円）、経常損失は358百万円（前年同期は経常損失312百万円）、四半期純損失は247百万円（前年同期は四半期純損失195百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

① ITセキュリティ事業

売上高は2,218百万円（前年同期比7.4%減）、セグメント損失は20百万円（前年同期はセグメント利益191百万円、211百万円の損益悪化）となりました。

企業ネットワークへの不正アクセス防止やマルウェア対策の製品需要が高まっており、関連製品の販売が好調でした。一方で、今後ますます多様化していく情報セキュリティ対策製品の開発投資が嵩み、損益を圧迫しました。

② ITインテグレーション事業

売上高は1,883百万円（前年同期比13.9%減）、セグメント損失は15百万円（前年同期はセグメント損失10百万円、5百万円の損益悪化）となりました。

特に震災直後の第1四半期において、企業のシステムの構築案件では予定納期の先送りが多くあり、売上が前年比で減少しました。

③ 映像コミュニケーション事業

売上高は68百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント損失は68百万円（前年同期はセグメント損失78百万円、10百万円の損益改善）となりました。

当社で企画開発した簡易映像伝送システム「Smart-telecaster」の姉妹製品として、スマートフォンを利用したより簡単な映像伝送が可能なAndroid OS対応版と、テレビ局の地上デジタル放送に使えるハイビジョン対応版の2製品を投入し、製品ラインアップの拡充を図りました。

④ エコ・デバイス事業

売上高は206百万円（前年同期比47.7%増）、セグメント損失は66百万円（前年同期はセグメント損失90百万円、24百万円の損益改善）となりました。

主力製品である人感センサー用ICの量産がスタートし、売上高が前年比で大幅に増加しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の当社グループの総資産につきましては、前連結会計年度末比242百万円増加の、7,796百万円となりました。

流動資産については、現金及び預金の増加459百万円、繰延税金資産の増加238百万円があった一方で、受取手形及び売掛金の減少526百万円等があり、前連結会計年度末に比べて511百万円増加、5,018百万円となりました。

固定資産については、無形固定資産の減少140百万円等により、前連結会計年度末に比べて268百万円減少、2,777百万円となりました。

流動負債については、前受収益の増加320百万円、支払手形及び買掛金の増加136百万円があった一方で、短期借入金の減少200百万円等があり、前連結会計年度末に比べて380百万円増加、3,617百万円となりました。

固定負債については、リース債務（貸借対照表上は「その他」に含まれる）の増加193百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べて222百万円増加、842百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余減少等により前連結会計年度末比359百万円減少し、3,336百万円となりました。

なお自己資本比率は42.6%（前連結会計年度末比6.0ポイント減少）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ459百万円増加し、1,298百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動から獲得した資金は1,004百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

収入の主な内訳としては、売上債権の減少526百万円、減価償却費333百万円、前受収益の増加320百万円等であります。

支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失424百万円、貸倒引当金の減少63百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は215百万円（前期比38.8%減）となりました。

支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出164百万円、有形固定資産の取得による支出40百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動で使用した資金は329百万円（前期比38.4%減）となりました。

支出の内訳は、短期借入金の減少200百万円、配当金の支払額123百万円等であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

〈当期の見通し〉

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日の「平成23年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想値から変更ありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	839,029	1,298,477
受取手形及び売掛金	2,129,357	1,602,465
商品及び製品	809,757	844,859
仕掛品	9,140	21,365
原材料及び貯蔵品	67,815	73,329
前払費用	461,578	491,897
繰延税金資産	200,000	438,000
その他	39,957	286,688
貸倒引当金	△49,144	△38,236
流動資産合計	4,507,492	5,018,846
固定資産		
有形固定資産	265,059	260,276
無形固定資産		
ソフトウェア	539,264	831,159
その他	568,907	136,918
無形固定資産合計	1,108,171	968,078
投資その他の資産		
投資有価証券	706,922	676,836
差入保証金	423,886	423,801
繰延税金資産	442,663	375,266
その他	242,634	163,598
貸倒引当金	△143,184	△90,650
投資その他の資産合計	1,672,922	1,548,852
固定資産合計	3,046,154	2,777,207
資産合計	7,553,646	7,796,054
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	568,527	705,017
短期借入金	800,000	600,000
未払金	206,575	199,106
未払法人税等	19,955	11,878
前受収益	1,237,739	1,558,232
賞与引当金	186,815	236,235
その他	217,425	306,845
流動負債合計	3,237,038	3,617,316
固定負債		
退職給付引当金	558,469	580,638
その他	61,513	261,432
固定負債合計	619,982	842,070
負債合計	3,857,020	4,459,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326,500	1,326,500
資本剰余金	1,247,627	1,247,627
利益剰余金	1,046,339	675,029
自己株式	△28	△28
株主資本合計	3,620,438	3,249,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,080	36,092
為替換算調整勘定	31,367	32,462
その他の包括利益累計額合計	53,447	68,555
新株予約権	22,740	18,983
純資産合計	3,696,626	3,336,667
負債純資産合計	7,553,646	7,796,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	4,791,966	4,377,693
売上原価	3,054,257	2,976,978
売上総利益	1,737,709	1,400,715
販売費及び一般管理費	1,823,058	1,633,338
営業損失(△)	△85,349	△232,622
営業外収益		
受取利息	90	464
受取配当金	783	798
法人税等還付加算金	3,677	—
持分法による投資利益	11,671	444
貸倒引当金戻入額	—	10,470
その他	394	1,226
営業外収益合計	16,618	13,403
営業外費用		
支払利息	4,901	2,922
通貨オプション評価損	47,851	29,936
複合金融商品評価損	141,600	63,300
為替差損	41,547	21,743
その他	7,611	21,118
営業外費用合計	243,511	139,020
経常損失(△)	△312,243	△358,239
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,815	—
新株予約権戻入益	395	3,757
特別利益合計	4,210	3,757
特別損失		
投資有価証券評価損	—	20,443
投資有価証券売却損	377	—
災害義援金	—	50,000
特別損失合計	377	70,443
税金等調整前四半期純損失(△)	△308,409	△424,925
法人税、住民税及び事業税	5,249	5,018
法人税等調整額	△118,000	△182,000
法人税等合計	△112,750	△176,982
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△195,659	△247,943
四半期純損失(△)	△195,659	△247,943

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△195,659	△247,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△725	14,012
為替換算調整勘定	1,385	1,178
持分法適用会社に対する持分相当額	△387	△82
その他の包括利益合計	272	15,108
四半期包括利益	△195,386	△232,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195,386	△232,835
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△308,409	△424,925
減価償却費	186,261	333,733
のれん償却額	4,999	4,999
貸倒引当金の増減額(△は減少)	45,617	△63,441
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,245	22,354
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,102	49,420
受取利息及び受取配当金	△874	△1,262
支払利息	4,901	2,922
為替差損益(△は益)	2,772	2,100
持分法による投資損益(△は益)	△11,671	△444
投資有価証券評価損益(△は益)	—	20,443
投資有価証券売却損益(△は益)	377	—
通貨オプション評価損益(△は益)	47,851	29,936
複合金融商品評価損益(△は益)	141,600	63,300
売上債権の増減額(△は増加)	904,675	526,885
たな卸資産の増減額(△は増加)	267,234	△52,839
仕入債務の増減額(△は減少)	△368,498	136,477
前受収益の増減額(△は減少)	372,782	320,493
災害義援金	—	50,000
その他	△315,372	47,123
小計	991,391	1,067,277
災害義援金の支払額	—	△50,000
利息及び配当金の受取額	874	1,262
利息の支払額	△5,502	△2,916
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	130,301	△10,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,117,064	1,004,663
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,954	△40,140
無形固定資産の取得による支出	△332,277	△164,999
投資有価証券の取得による支出	△5,000	△10,000
投資有価証券の売却による収入	4,622	—
貸付けによる支出	—	△550
その他	16,969	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352,639	△215,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400,000	△200,000
配当金の支払額	△123,368	△123,004
その他	△11,088	△6,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△534,456	△329,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,630	△235
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	228,338	459,448
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,554	—
現金及び現金同等物の期首残高	866,048	839,029
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,111,941	1,298,477

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

① 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I Tセキュ リティ	I Tインテ グレーション	映像コミュ ニケーション	エコ・デバ イス			
売上高							
外部顧客への売上高	2,396,640	2,188,621	66,681	140,023	4,791,966	—	4,791,966
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,396,640	2,188,621	66,681	140,023	4,791,966	—	4,791,966
セグメント利益又は 損失 (△)	191,660	△10,421	△78,740	△90,252	12,245	△97,595	△85,349

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 △97,595千円は、主に報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

② 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I Tセキュ リティ	I Tインテ グレーション	映像コミュ ニケーション	エコ・デバ イス			
売上高							
外部顧客への売上高	2,218,664	1,883,762	68,433	206,833	4,377,693	—	4,377,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,218,664	1,883,762	68,433	206,833	4,377,693	—	4,377,693
セグメント損失 (△)	△20,234	△15,257	△68,279	△66,906	△170,677	△61,945	△232,622

(注) 1. セグメント損失の調整額 △61,945千円は、主に報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

(注) 2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。